

科目名	産業創造セミナー	英文表記	Creative Industry Seminar	2015/2/28			
科目コード	3201						
教員名: 杉本 和英 ・ 新任教員 技術職員名: なし				作成			
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
情報通信システム工学科	3年	必	履修	2単位	講義	通年	
科目目標	①企業の仕組みについて学び、社会の仕組みを考えることができる。また、自身の進路決定に際して考えるきっかけをつかむ。 ②基礎的なビジネス関連用語を理解し、説明することができる。 ③PBLにより、グループ独自の事業計画を立案し発表するとともに、他グループと発表内容に対して議論することができる。						
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(期末)の平均の70%+課題(30%)。 学年末評価は、前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。 課題については、レポート(40%)・プレゼンテーション資料(プレゼンテーションを含む)(40%)・グループディスカッションの取り組み(20%)とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック
	40%	① 企業の仕組みについて学び、社会の仕組みを考えることができる。また、自信の進路決定に際して考えるきっかけをつかむ。	正しく説明できるか講義での課題に対するレポートおよび発表での回答状況により評価する。	授業で学習した内容と関連付けながら、企業の仕組みと社会の仕組みについて、応用可能性や将来展望等を含め、それらの要点を説明できる。	教材・参考図書等に従い、企業の仕組みと社会の仕組みについて、その要点を多角的に説明できる。	講義資料・参考図書等を参照しながら、企業の仕組みと社会の仕組みについてその概念と基本的な用語や考え方を説明できる。	
	30%	② 基礎的なビジネス関連用語を理解し、説明することができる。	正しく説明できるか定期試験および講義での課題に対するレポートでの回答状況により評価する。	授業で学習した内容と関連付けながら、ビジネスについて、実現可能性や経営分析等を含め、それらの要点を説明できる。	教材・参考図書等に従い、マーケティング・プロモーション・財務諸表に基づく経営分析等について、その要点を多角的に説明できる。	講義資料・参考図書等を参照しながら、ビジネスについてその概念と基本的な用語や考え方を説明できる。	
	30%	③ PBLにより、グループ独自の事業計画を立案し発表するとともに、他グループと発表内容に対して議論することができる。	事業計画書を作成し正しく発表できるかプレゼンテーションと資料および発表での回答状況により評価する。	Aコミュニケーション: 発表資料の内容をグループでまとめることができる。 B合意形成: 他者の意見とも合意し、グループ案として整理することができる。 C情報収集・活用・発信力: Webや関連書籍等から必要な情報だけを収集し、整理・活用することができる。	Aコミュニケーション: 自分の考え・意見を伝えることができ、人の意見に耳を傾けることができる。 B合意形成: 話し合いをして、グループの意見をまとめる。(リーダーの意見に流されない) C情報収集・活用・発信力: Webや参考書籍等から情報収集できる。	Aコミュニケーション: 自分の意見を述べるすることができる。 B合意形成: 自分の主張を他人に押し付けない。 C情報収集・活用・発信力: 必要となる情報収集できる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○		◎				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(講習開催・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		40	0	30	30	100	
基礎的理解	①②③	20		10	10	40	
応用力(実践・専門・融合)	②③	5		5	5	15	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③	10		10	10	30	
主体的・継続的学修意欲	①②③	5		5	5	15	
授業概要、方針、履修上の注意	起業家による講演で創業の経緯と経営課題、経営学分野の非常勤講師による講義を通じてビジネス関連基礎知識を学び、参考資料とサンプルに基づいてグループ単位で事業計画書を作成する。						
教科書・教材	各講師配布資料 (参考図書)事業計画がしっかり作れる本(かんき出版)						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	年間のガイダンス	2	目標・授業概要および進め方を説明する。		
2	起業家講演(1)	2	ビジネスの基礎と事業企画書作成について。		
3	ビジネスの基礎(1)	2	企業とは何か(企業活動・仕組み)	プリント問題について復習する	
4	ビジネスの基礎(2)	2	企業の種類	プリント問題について復習する	
5	ビジネスの基礎(3)	2	企業の設立手続き	プリント問題について復習する	
6	ビジネスの基礎(4)	2	企業の三つ形態	プリント問題について復習する	
7	ビジネスの基礎(5)	2	企業内部の組織図	プリント問題について復習する	
8	ビジネスの基礎(6)	2	企業のライフサイクルとマネージメント	プリント問題について復習する	
9	ビジネスの基礎中間試験	2	週3～8の講義で学んだ内容について試験を行う		
10	ビジネスの基礎(7)	2	企業を取り巻く環境分析	プリント問題について復習する	
11	ビジネスの基礎(8)	2	経営戦略	プリント問題について復習する	
12	ビジネスの基礎(9)	2	マーケティング戦略	プリント問題について復習する	
13	ビジネスの基礎(10)	2	損益計算書、賃借対照表	プリント問題について復習する	
14	ビジネスの基礎(11)	2	損益分岐点計算、経営分析	プリント問題について復習する	
15	ビジネスの基礎(12)	2	ビジネスの課題に関する調査とレポート作成		
期末	期末試験	[2]			
16	事業計画(1)	2	事業計画書の意義と事業開始までの段取り	プリント問題について復習する	
17	事業計画(2)	2	事業内容の検討	プリント問題について復習する	
18	事業計画(3)	2	事業環境の検討	プリント問題について復習する	
19	事業計画(4)	2	事業計画の策定	プリント問題について復習する	
20	事業計画(5)	2	事業計画の策定	プリント問題について復習する	
21	事業計画(6)	2	資金調達、売り上げ計画、財務諸表作成	プリント問題について復習する	
22	事業計画(7)	2	リスクとコンプライアンス	プリント問題について復習する	
23	事業計画(8)	2	事業計画書(起業企画書)のまとめ	プリント問題について復習する	
24	事業計画(9)	2	作成した事業計画の発表	各事例の追跡調査	
25	起業家講演(2)	2			
26	起業家講演(3)	2			
27	起業家講演(4)	2			
28	起業家講演(5)	2			
29	起業家講演(6)	2			
30	起業家講演(7)	2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	課題演習(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各10時間×2回	
②	課題演習(事業計画書の作成に係る課題を課す。)			40時間	
				計60時間	
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目ではない。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目:この科目の主たる関連科目はネットワーク概論(2年)、IT応用(3年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)